

Djoin 説明書

1. はじめに

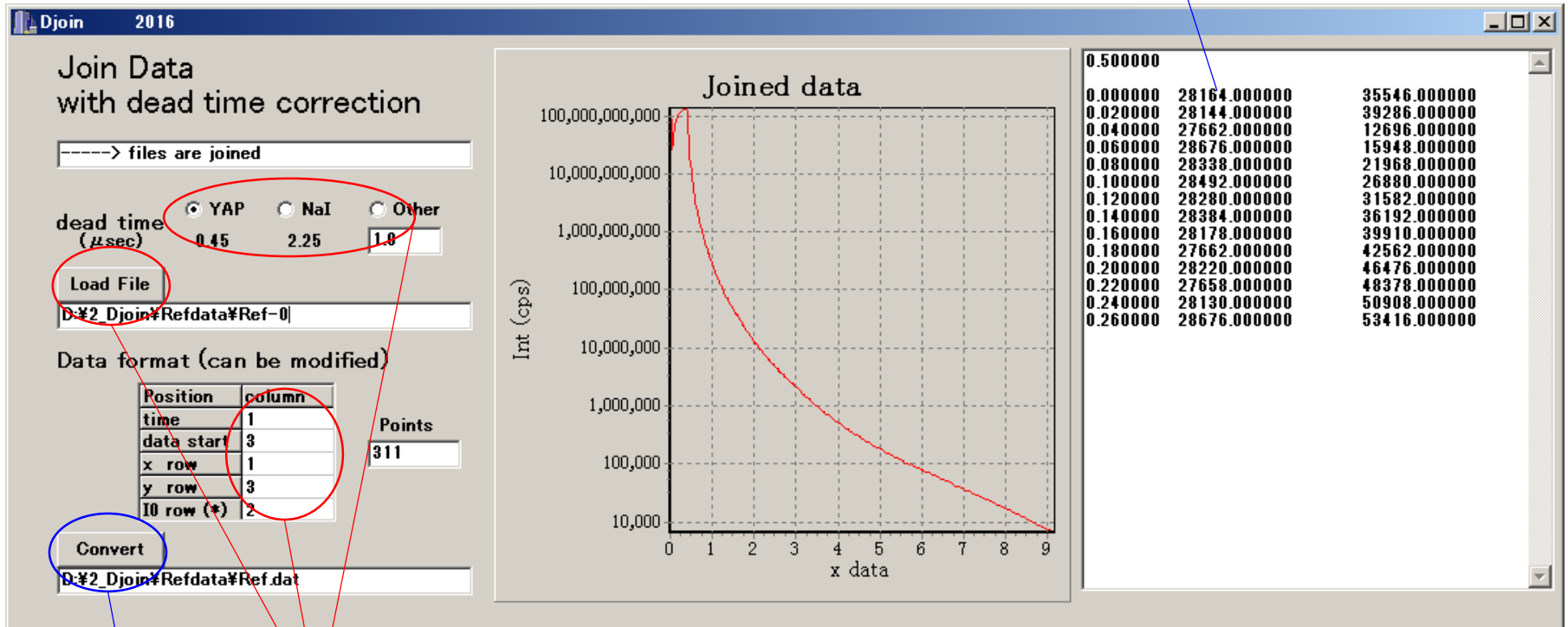
本ソフトは、X線・中性子反射率測定において、角度領域毎に（一部分オーバーラップして）反射率を測定し、それらを連結し全体の反射率データを取得するもので、Windows PC用に準備したものです。

測定データは計測時間とdead timeにより数え落とし補正が行われます。

2. インストール

_¥2_DjoinフォルダをWindows PCの任意の場所にコピーします。Djoin.exeをクリックし、実行します。

データ・プレビュー



出力

入力

3. 使い方

●検出器として「YAP」か「NaI」か「その他」を選ぶと、代表的な数え落とし時間(μ sec)が設定されます。数え落とし時間が分かっている場合は、「その他」を選び、dead timeを入力すると、数え落とし補正が行われます。

●「Load file」で一番低角のファイル(ファイル名の形式はxxx-0あるいはxxx_00000
ここでxxxは任意の名前)である。拡張子(.yyy)が付いていても良い。

●右にファイルのヘッダー部が表示されるので、それを確認し、計測時間の行番号、データがスタートする行番号、およびX値の列番号(必須)、計数値の列番号(必須)、I0モニタの列番号(無くても良い)を確認し、必要に応じて下の表の値を変更する。I0モニタのデータが指定された場合、その値でデータを規格化する。

●「convert」を押すと、指定されたファイルから、ナンバーが増えるファイルを探して、自動連結する。連結されたファイル(xxx.dat)は、元ファイルのディレクトリに作成される。